平成19年度
「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」

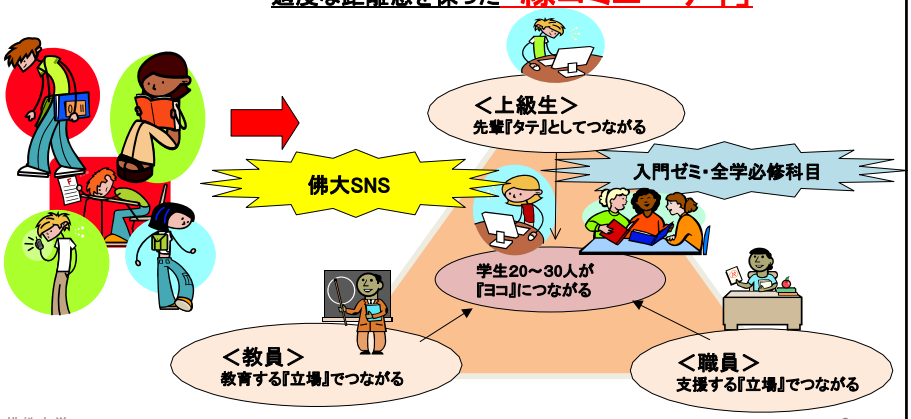
「縁（えにし）」コミュニティによる離脱者ゼロ計画

佛教大学

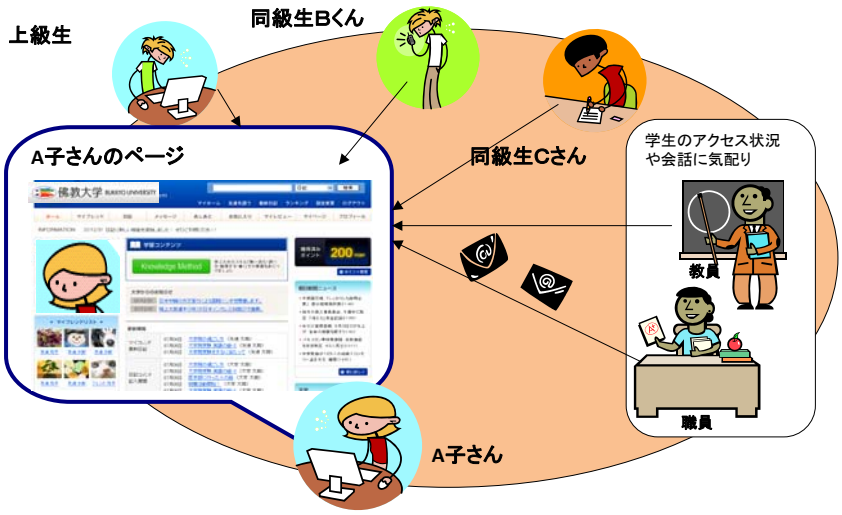
このプログラムは同級生との「ヨコ」の関係、上級生との「タテ」の関係、
さらに教職員との「立場」の関係を柔軟に組み合わせた「縁コミュニティ」を
つくり「つながっていない不安」から「つながっている安心」を与え、
入学者全員の卒業を目指す「離脱者ゼロ」プログラムです。

つながってない不安 ⇒ つながっている安心

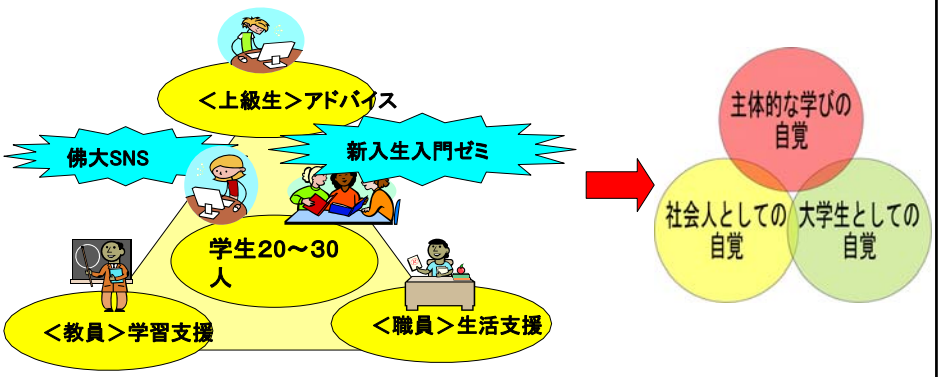
適度な距離感を保った「縁コミュニティ」



SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を併用して、いつでもどこでもキャンパスライフ！



縁コミュニティに方向性を与えるミッションプログラム（入門ゼミ）



「縁コミュニティ」

新たな取組の有効性

(1) 孤立化、修学意欲減退の防止効果の向上

SNS上のつながりによって、学生の孤立化、学習の遅れやそれに伴う修学意欲の減退などを防ぐ。

(2) 入門ゼミによる大学での学びの習得、学習意欲の一層の高まり

学科独自の入門ゼミを受講し、大学での学びを学習。リアルな場（講義）とヴァーチャルな場（SNS）での共育（ともそだち）を実現。

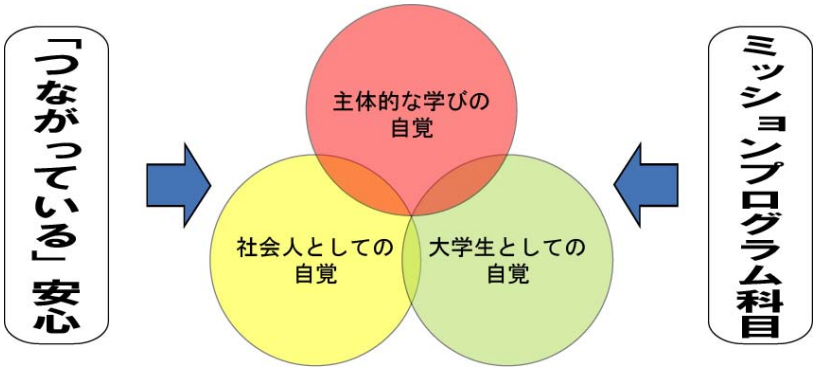
(3) キャリア形成支援の充実

教職員･上級生･卒業生とのかかわりの中で、早い段階からのキャリアビジョンの明確化を促し、より実践的なキャリア教育を行うことができる。

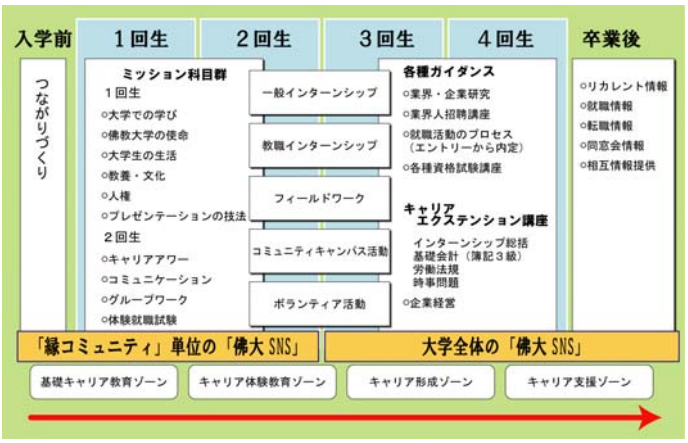
(4) 教員・職員・上級生の三位一体による学生支援体制の強化

上級生や教職員とが共同体として一体となることで、学生の立場に立ったより効果的な学生支援を行うことができる。

「つながっている」安心と ミッションプログラムによる3つの自覚



ミッションプログラムと体系的なキャリア支援プログラム



改善・評価と将来構想

離脱者「ゼロ」に向けて・・

改善・評価

- 全学的な組織にフィードバック（学生支援の向上）
- 評価モニター制度による取組の改善
- シンポジウム【「縁」による共育をめざして】の開催

将来構想

- 総合的学生支援センターの設置
- 学びと生活が一体となったエンロール・マネジメントの構築・キャリア支援を含めた総合的支援体制の確立

離脱者ゼロ計画進捗状況

- **中途退学者（年間150名前後）の傾向**

☆経済的理由（学費支弁者の離職・留年）
退学者の30%～40% ⇒ 奨学金等支援制度の拡充

☆修学意欲減退（1回生でのつまづき・留年・就職失敗）
退学者の30%～40% ⇒ **縁コミュニティによる支援**

☆その他（進路変更・処分退学・死亡退学・結婚等々）

縁（えにし）コミュニティの構築

- **初年次教育の重要性から、縁コミュニティは入門ゼミを活用**

☆入門ゼミは学科ごとに10名から60名で形成される1回生必修の授業科目（SNSへの登録が簡単というメリットあり）。

☆大学での学び方、施設の利用の仕方、将来の目標設定等を講義内容とする。

- **縁コミュニティの運営**

☆ 縁コミュニティは「リアルな場」（授業等の学園生活）と「ヴァーチャルな場」（SNS）の相互補完で成り立たせ、教員や職員はリアルな場を中心に、上級生はヴァーチャルな場＝SNSを中心に 支援を展開する。

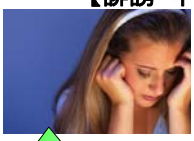
倫理規定

【個人情報の書込みをしないでください。】

←アップしていい画像ですか？書込みや、アップロードを行う前に、再度チェックしましょう！

本人情報の書込みについては注意してください
※住所・電話番号などの個人情報
※本人・他人を含む画像や動画のアップロードは行わないでください。
（画像や動画に他人が含まれている場合、
肖像権・プライバシーの侵害にあたる可能性があります。）
※閲覧した人が不快になるような、画像や動画はアップロードしないでください。

【誹謗・中傷等、閲覧した人が不快になる書込みは行わないでください】



人を傷つけていませんか？不快感を与える書込みしていませんか？

※他人の人格を否定するような書込みや、相手を罵倒するような発言は、絶対に行わないでください。
これらの事実が判明した場合、即刻記事を削除いたします。
※規定に反する場合、利用を停止する場合もございます。
※また不正な記事を発見された場合は、縁コミュニティ事務局まで。
E-mail ：enishi@bukkyo-u.ac.jp
内容を確認の上、SNSシステム管理者の判断により、削除などの適切な対応をさせていただきます。

【著作権法を遵守してください。】

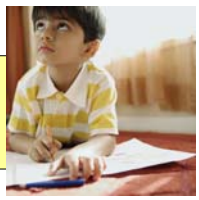
※著作権者の承諾を得ずに、他人の著作物を不正に利用すると著作権侵害になります。
【不正に入手したファイル・海賊版・違法コピーファイル等】

【有害サイトの広告や紹介、物品の販売等の書込みは行わないで下さい。】

※出会い系サイトの紹介や勧誘、特定商取引法で規制されている、連鎖販売取引（マルチ商法）の紹介や物品販売等も行わないでください。

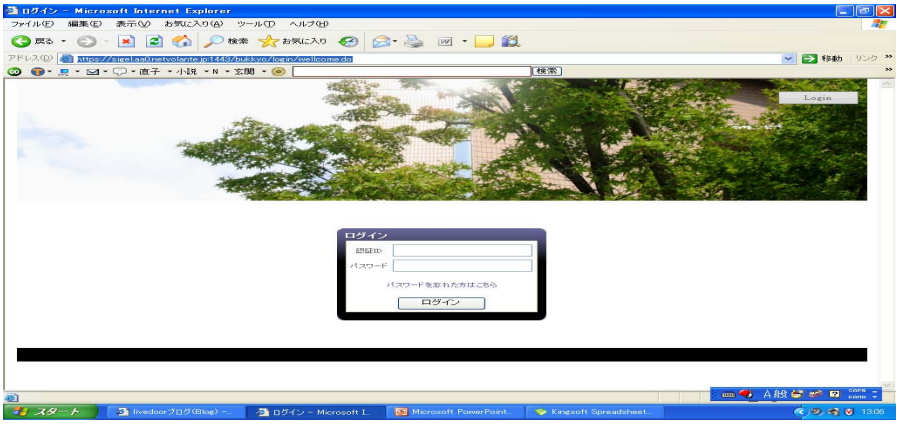
【投稿する前に、内容を再確認してください。】

※誤字・脱字がないか、誤解を与える表現を使っていないか、文章が読み手にとって理解しやすい表現になっているかを、確認した上で投稿するように心がけてください。

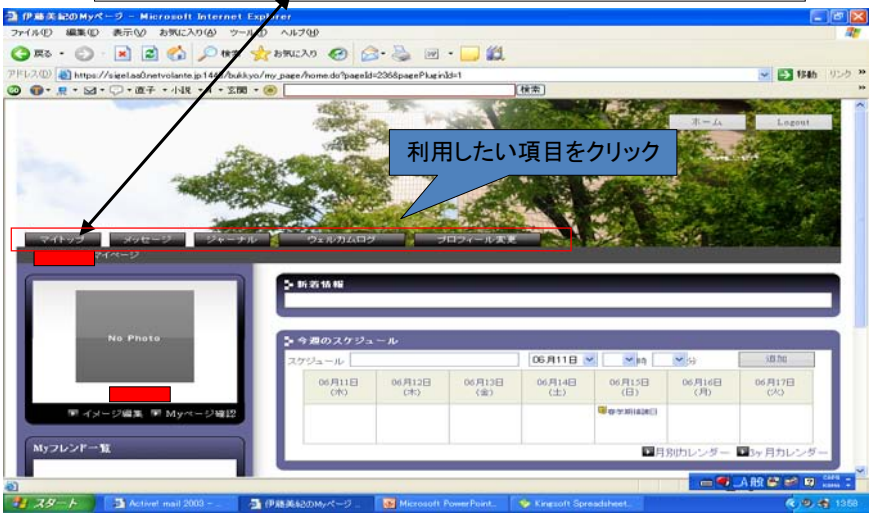


佛大ＳＮＳログイン

1.佛教大学ホームページ
2.在学生の方へのTOPページのバナー
【縁コミュニティ】をクリック
↓下記画面が表示されます。



ログインされた方のお名前が出てきます。
ログイン後は常にこのページがTOPにきます。
このページから、利用される項目を選択して
進んでいただく事になります。



アンケートの実施

※対象：2008年度入学生　全学部約1600人
回答済み約1308人

アンケート実施による明確になった主な問題点

●携帯とパソコンどちらを利用する事が多いですか？
【 携帯 **1091人（83%）** ・ パソコン **217人（17%）** 】

●自宅にいる時にパソコンをどの程度の頻度で使いますか？
【 ほぼ毎日使う**393人（30%）** ・ 数日に1度**503人（38%）** ・
1週間に1度**158人（12%）** ・ 滅多に使わない**224人（17%）**】

●携帯の1日の利用時間は何時間くらいですか？
【 1日1時間以内**578人（44%）**・ 2時間～3時間**516人（39%）**・ 5時間以上**117人（9%）**】

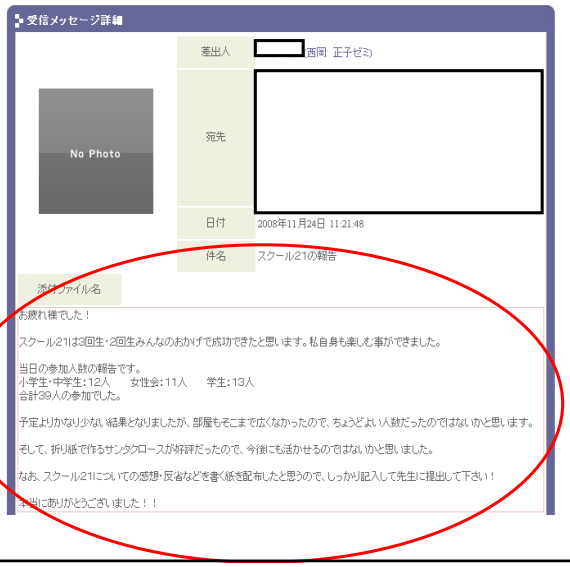
**携帯の利用頻度が高く、パソコンの利用頻度が少ない。
モバイルサイトへのアクセスも多いため、
早急なモバイル対応が求められている。**

利用状況

①ジャーナルを利用した交流

担当教員・支援上回生がサポートの上、
コミュニティ内でゼミ生と
ジャーナルのカキコミによる交流

②メッセージを活用した実習報告



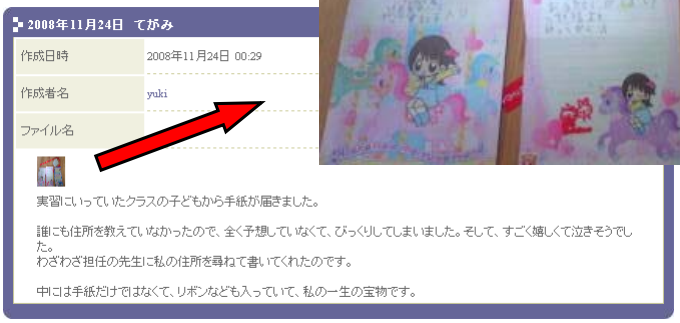
実習に参加した学生から後日参加予定の学生へメッセージによる報告。

実習や合宿参加の度、頻繁にメッセージが交わされています。

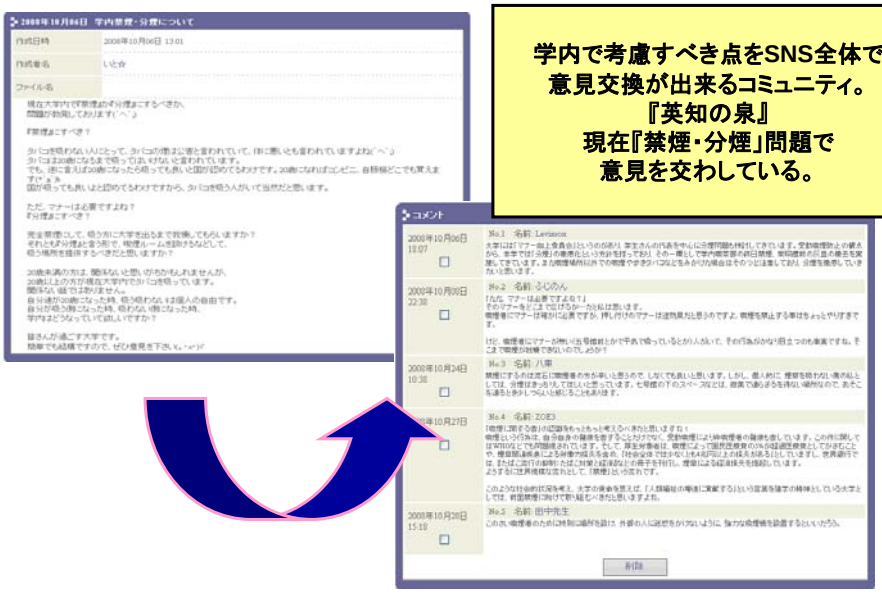
確認事項や連絡だけでなく、楽しかった事などもメッセージ内容に含まれているので、楽しくメッセージを交わしています。

③自身のジャーナルを活用した実習報告

実習に行った学生が子どもたちから手紙を貰った時の感動を自身のジャーナルで伝えてくれています。



③コミュニティを利用した意見交換



学内で考慮すべき点をSNS全体で
意見交換が出来るコミュニティ。
『英知の泉』
現在『禁煙・分煙』問題で
意見を交わしている。

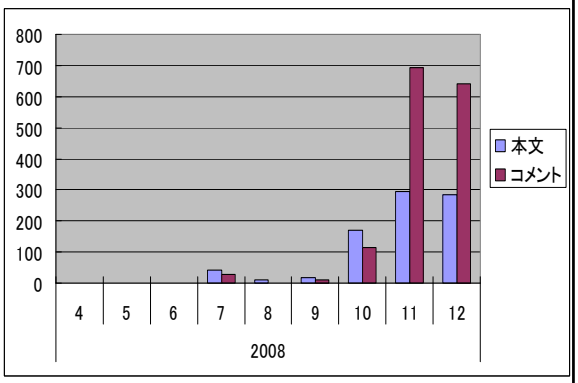
縁コミュニティ（佛大SNS）運営の現状

- 文学部（人文学科・中国学科・英米学科） ⇒ 運営は低調
  入門ゼミの人数が多い。パソコンが苦手な教員多い。
- 教育学部（教育学科・臨床心理学科）
  少人数の入門ゼミの補完としてSNSを活用。支援上級生は教免取得の情報や教育実習での体験をブログで披露。
- 社会学部（現代社会学科・公共政策学科） ⇒ 運営は順調
- 社会福祉学部（社会福祉学科） ⇒ 本格稼働はこれから
- 保健医療技術学部（理学療法学科・作業療法学科）
  ⇒ 導入を検討中　SNSでの誹謗中傷の書き込みを懸念

アクセス状況

ブログ書き込み数

年	月	本文	コメント	月計
2008	4	0	0	0
	5	0	0	0
	6	0	0	0
	7	42	26	68
	8	9	0	9
	9	16	11	27
	10	171	115	286
	11	294	692	986
	12	283	642	925
	計	815	1486	2301



※本文（ジャーナル）のカキコミ、コメントのカキコミともに増加。（12月は冬期休暇の為若干減少）

縁コミュニティ（SNS）運営の課題

- 縁コミュニティはプレゼミや卒論ゼミなど授業科目を利用し、教員主体で行い学生の参加も自由とする。
- e－ラーニングとの峻別を明確にし、上回生ではゼミの伝言・掲示板的利用に特化させる。
- １回生は入門ゼミを利用するので、全員が登録されることになるが、インフラの整備、パソコン技術の習熟度アップ、SNSのモバイル化が課題と言える。
- ただし、本プログラムの課題は、縁コミュニティから離脱していく学生にある。
- 入門ゼミ担当教員の熱意にあふれたサポートと、学生支援部署の迅速な対応（リアル）の補完としての役割を佛大SNSで目指すべき。
- 経済的支援を含め、総合的な学生支援体制のなかに「縁コミュニティ」を位置づけていく必要がある。